

# 平成29年大分県観光統計調査(1月～12月・確報)の概要

令和元年 7月 19日

大分県商工観光労働部 観光局 観光政策課

・この調査は、従業員10人以上の県内の主要な宿泊施設(170施設)の宿泊客数及び、主要有料観光施設(30施設)の交流客数などを調査したものである。

・平成29年の宿泊客数は462万人で、平成28年と比べ4.9%増加した。  
(参考:対前年比の推移)平成28年:△3.6%、平成27年:+4.7%、平成26年:+1.3%

・国内宿泊客数は376万人で、平成28年と比べ0.8%減少した。  
また、国内宿泊客の構成を居住地別に見ると、福岡県からの宿泊客が最も多く(構成比28.1%)、次いで大分県内(17.7%)、その他九州(県内・福岡県除く)・沖縄(16.9%)からとなっている。

・外国人宿泊客数は86万人で、平成28年と比べ39.4%増加した。  
また、外国人宿泊客の構成を国籍・地域別に見ると、韓国からの宿泊客が最も多く(構成比64.9%)、次いで台湾(11.8%)、中国(大陸)(8.4%)の順となっている。

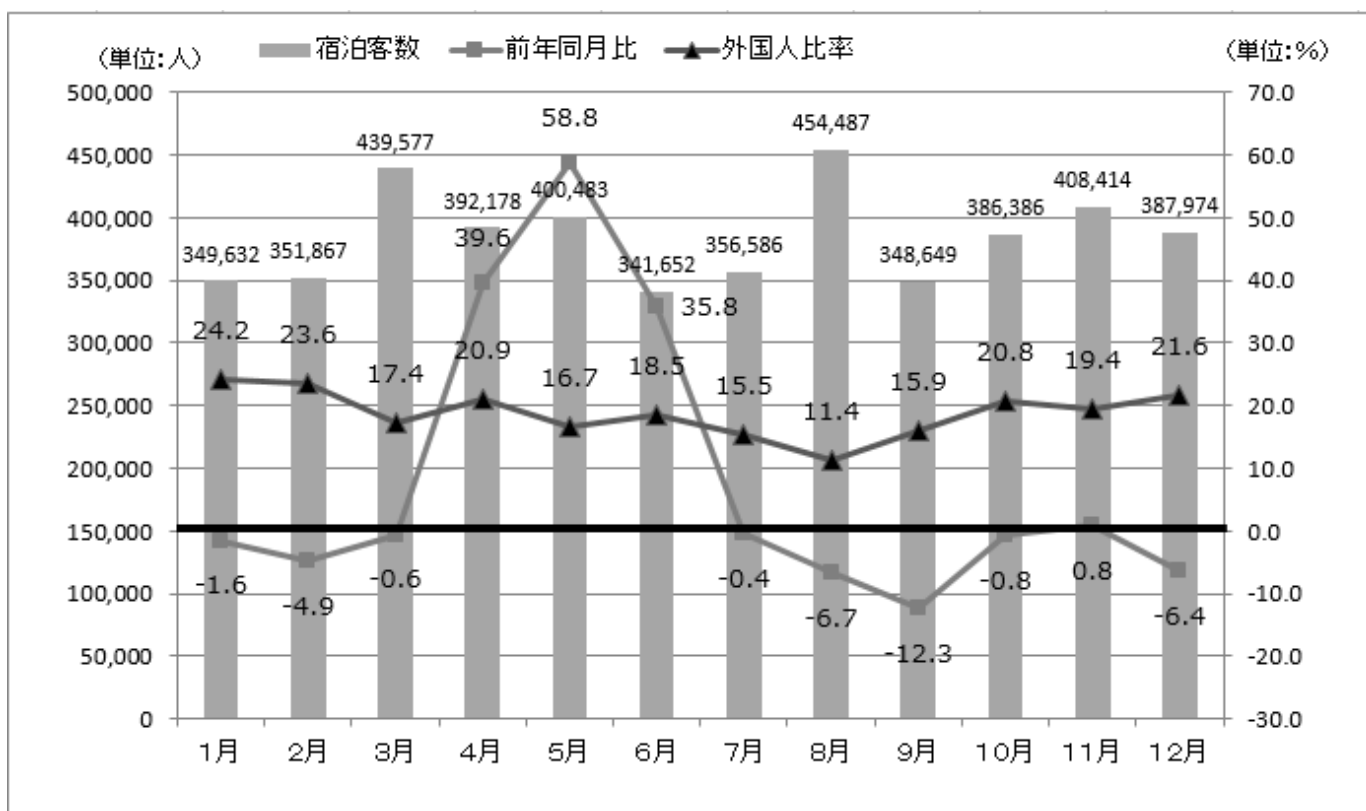
## 1 平成29年の県内宿泊客の動向

平成29年の県内における宿泊客数は462万人で、平成28年と比べ4.9%増加した。

月別推移を見ると、平成28年には熊本地震が発生したことで大幅に減少していた4～6月が増加していることがわかる。その後は8月・9月・12月で宿泊客数が前年を下回っている。これは「九州ふっこう割」の反動減が影響したものと思われる。【図表1】

また、宿泊客数に占める外国人の割合を見ると、国内宿泊客が増加する8月を除くと、概ね20%程度で推移しており、県内における宿泊客の5人に1人は外国人客となっている。

【図表1】平成29年月別宿泊客数(確報)



## 2 国内宿泊客の動向

平成29年の国内宿泊客数は376万人で、平成28年と比べ0.8%減少した。【図表2】

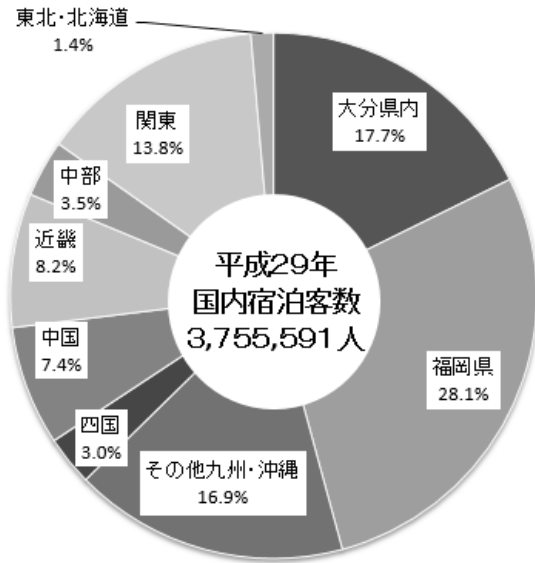
月別推移を見ると、4月から6月は大きく伸びたものの、その他の月は前年割れしていたことから、年計で前年比並となった。【図表3】

発地別に見ると、福岡県からの宿泊客数は105万人で最も多く28.1%を占め、次いで大分県内が17.7%、その他九州・沖縄16.9%の順となっており、近隣からが6割以上を占める。発地別宿泊客数の対前年比を見ると、その他九州・沖縄、四国、中国、近畿では前年を上回ったが、それ以外の地域では前年を下回った。【図表2】

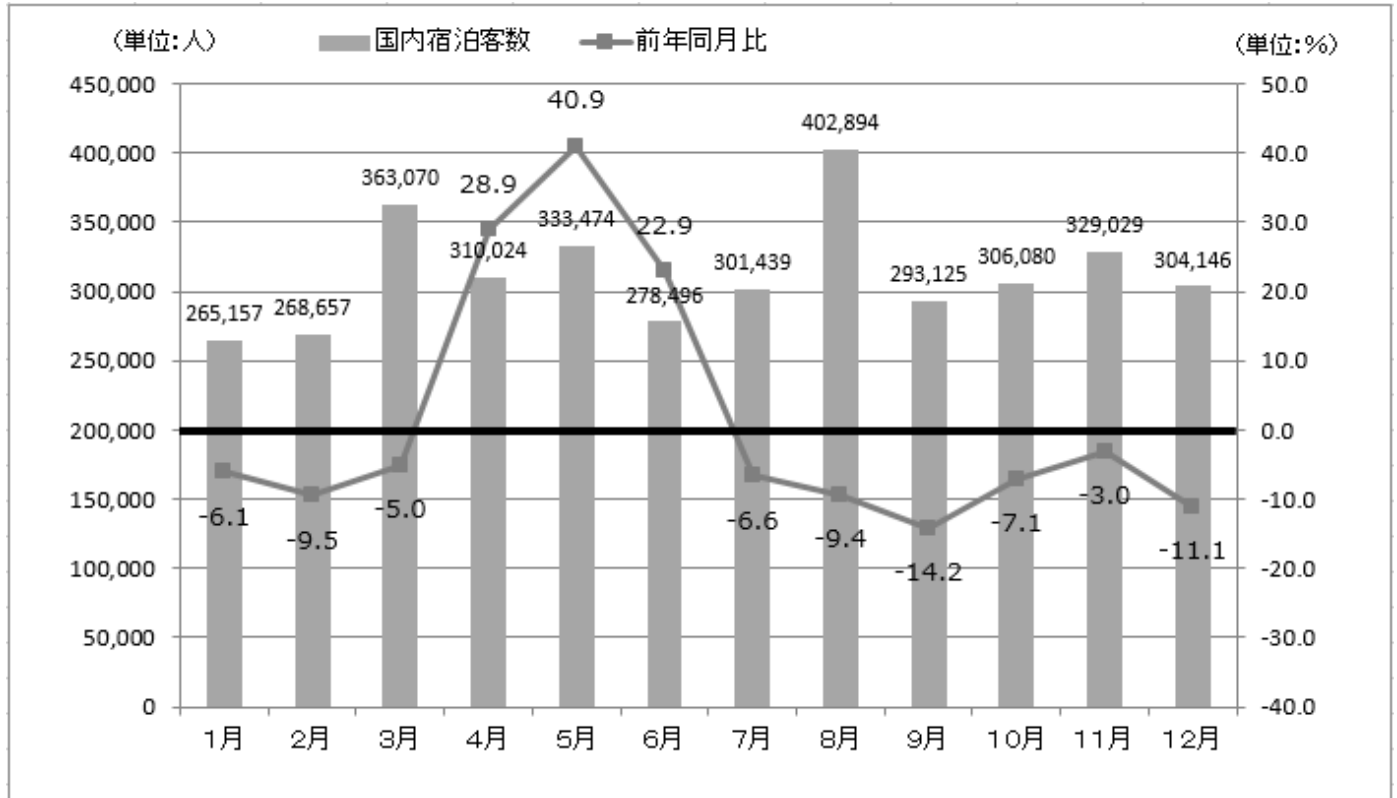
【図表2】国内発地別宿泊客数および構成比

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)
大分県内	665,234	△6.7
福岡県	1,054,450	△2.7
その他九州・沖縄	633,302	+3.9
四国	114,471	+10.9
中国	276,269	+4.3
近畿	309,321	+4.2
中部	131,731	△0.2
関東	518,930	△1.8
東北・北海道	51,883	△3.2
国内小計	3,755,591	△0.8

国内宿泊客の構成比(平成29年)



【図表3】平成29年月別国内宿泊客数



### 3 外国人宿泊客の動向

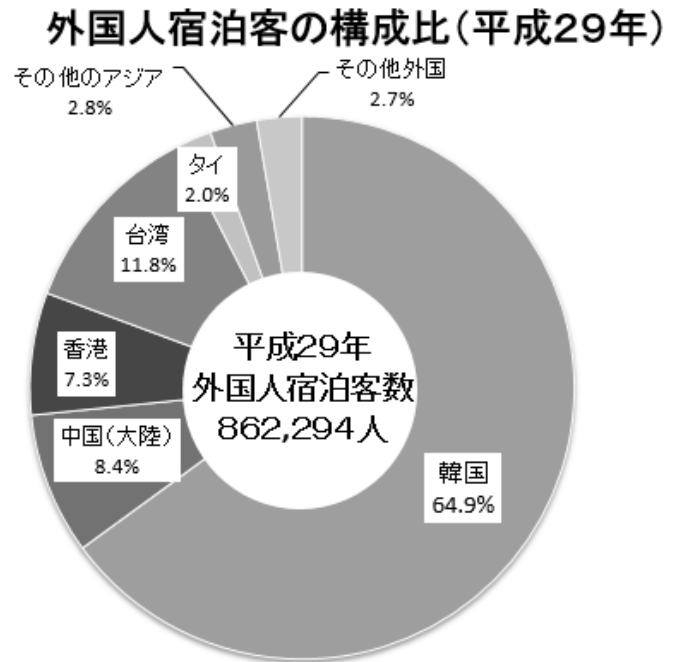
平成29年の外国人宿泊客数は86万人で、平成28年と比べ39.4%増加した。【図表4】

月別推移を見ると、9月を除き、前年を上回り、特に4～6月は国内宿泊客同様大幅な増加がみられた。平成29年3月に仁川との定期便（ティーウェイ航空）が週4便から週6便に増便したことによる、韓国客の増加などが要因とみられる。【図表5】

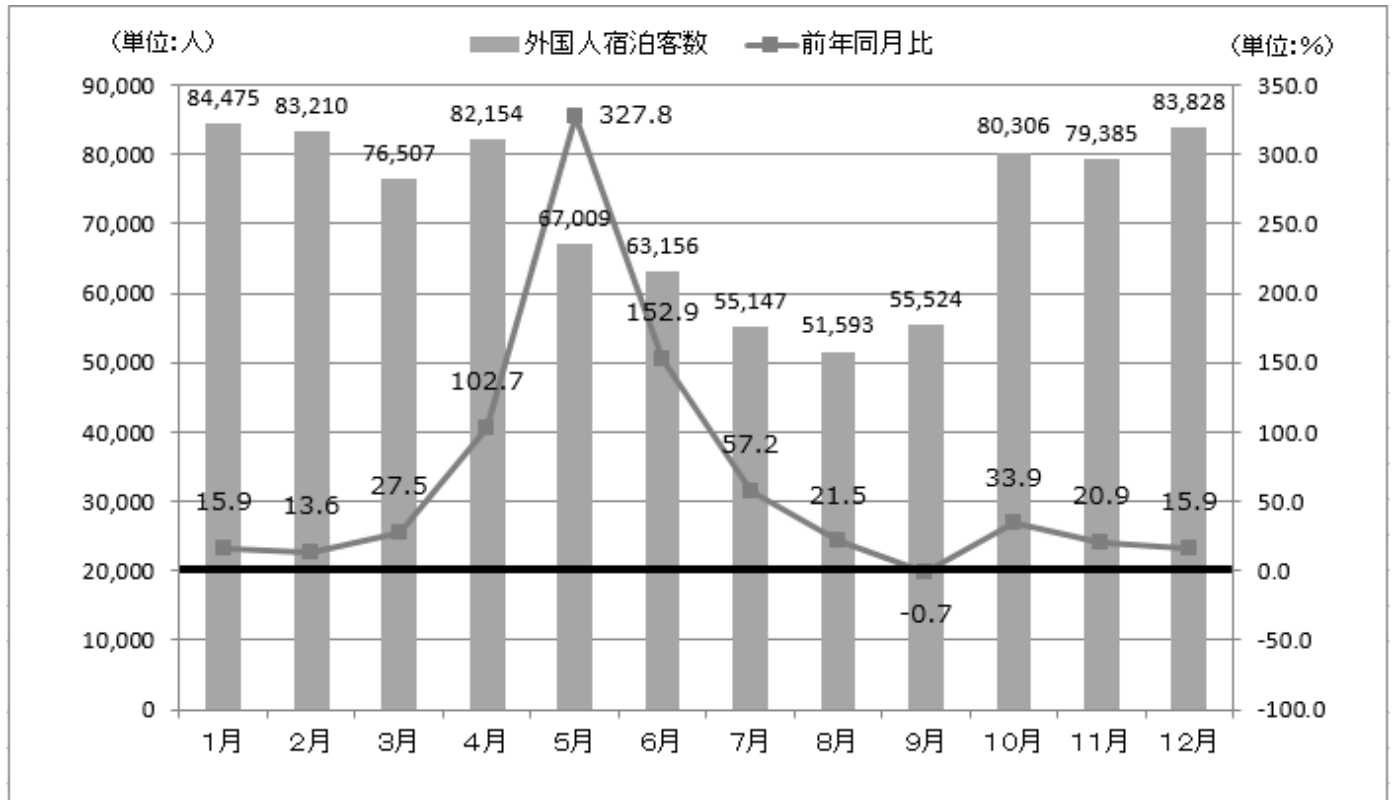
外国人宿泊客の国籍別構成比をみると、韓国からの宿泊客が56万人と最も多く、外国人宿泊客全体の64.9%を占める。次いで台湾、中国（大陸）の順となっており、香港も含めた東アジア圏で9割を占めている。【図表4】

【図表4】外国人発地別宿泊客数および構成比

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)
韓国	560,017	+55.3
中国(大陸)	72,795	+15.5
香港	62,799	+21.8
台湾	102,050	+16.9
タイ	17,459	△15.9
その他のアジア	24,091	+22.0
その他外国	23,083	+47.4
外国小計	862,294	+39.4



【図表5】平成29年月別外国人宿泊客数



#### 4 市町村別宿泊客

平成29年の県内宿泊客数を市町村別に見ると、別府市が最も多く214万人となっており、全体の46.4%を占める。また、全ての地域で前年比を上回った。【図表6】

【図表6】市町村別宿泊客数

	宿泊客数 (人)	前年比 (%)	構成比 (%)
大分市	936,089	+3.6	20.3
別府市	2,144,470	+4.7	46.4
日田市	284,027	+1.3	6.2
竹田市	123,165	+9.6	2.7
由布市	316,814	+9.9	6.9
九重町	145,761	+23.0	3.2
その他の市町村	667,559	+2.3	14.5
県計	4,617,885	+4.9	100.0

#### 5 県内交流客数

大分県観光統計調査では、県内交流客数として、有料観光施設の入場者数や道の駅レジ打ち数等の項目について調査しており、その結果は以下のとおりとなった。

道の駅（レジ打ち数）を除く全ての項目が前年比プラスとなった。

・ 有料観光施設(入場者数)	6,219,140人 (対前年比 +11.1%)
・ 道の駅(レジ打ち数)	4,256,284回 (同 -1.0%)
・ 大分空港(乗降客数)	1,882,358人 (同 +4.5%)
・ 県内港湾乗降客数	1,675,274人 (同 +7.6%)
・ 高速道路(1日の出入通過台数)	105,170台 (同 +3.2%)

#### 【参考】調査対象有料観光施設<sup>1</sup>(合計30施設)

屋内施設(15施設)	市町村
大分マリンパレス水族館「うみたまご」	大分市
大分県立美術館	
大分市立美術館	
スギノイパレス	別府市
アクアビート	
福沢旧居・資料館	中津市
サッポロビール九州日田工場	日田市
地底博物館鯛生金山	
マリンカルチャーセンター(H30.4.1~休止)	佐伯市
滝廉太郎記念館	竹田市
富貴寺	豊後高田市
安心院葡萄酒工房	宇佐市
朝倉文夫記念館	豊後大野市
九州湯布院民芸村(H30.5.31閉鎖)	由布市
国東市歴史体験学習館「弥生のムラ」	国東市

屋外施設(15施設)	市町村
高崎山自然動物園	大分市
別府地獄めぐり(別府地獄組合)	別府市
別府ロープウェイ	
城島高原パーク	
別府ラクテンチ	
臼杵石仏	臼杵市
風連鍾乳洞	
くじゅう花公園	竹田市
岡城跡	豊後高田市
昭和の町	
熊野磨崖仏	
真木大堂	宇佐市
九州自然動物公園アフリカンサファリ	
稲積水中鍾乳洞	豊後大野市
ハーモニーランド	日出町

<sup>1</sup> 平成27年調査から、大分県立美術館、大分市美術館を対象施設として追加した。